

## 幼稚園教諭補助資料(保育教諭補助資料)

浜松市が目指す教職員の姿		こどもの自分らしさを受け止める教職員		愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員		専門性と指導力を磨き続ける教職員	
キャリア段階(経験年数(目安))	0 段階 着任時	1 段階 基礎期(1~3年)	2 段階 向上期(4~8年)	3 段階 充実・発展期(9~15年)	4 段階 深化・貢献期(16年~)		
	社会人になる自覚を持つとともに、求められる資質の基盤を形成しようと努める。	教育及び保育活動に必要な基礎的な知識及び指導技術を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を付ける。	保育指導の専門的な知識及び技能を習得し、自立した教員として園運営の一翼を担う力を付ける。	園運営・経営等に関する知識及び技能を習得し、自身の得意分野の伸長を図るとともに、リーダーとして園運営のための調整力を付ける。	園運営上重要な役割を担い、他の職員への指導・助言など指導的役割や、園や地域の教育力向上に貢献できる力を付ける。		
教育センターにおける主な研修		●初任者研修 ●2年目研修		●6年目研修		●中堅教諭等資質向上研修	
<b>A 教育的素養</b> ① 豊かな人間性と社会性 ② 教育への情熱・愛情 ③ たゆまぬ自己改革 ④ コンプライアンス		・ 子供や同僚、保護者、地域住民と良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付けている。【コミュニケーション】 ・ 一人一人の多様性を認め尊重する人権意識を持っている。【多様性の尊重】 ・ 教育及び保育に対する意欲や情熱、子供への深い教育的愛情を持っている。【情熱・愛情】 ・ 常に変化を受け止め、探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に学び続け、新しい知識・技能の習得に努めている。【自己研鑽、高度な知識・技能、実践的指導力】 ・ 「ワーク・ライフ・バランス」を良好に保ち、心身ともに健康的で職務に専念できるよう自己管理に努めている。【自己管理】 ・ 教育公務員としての使命感や責任感を自覚し、高い倫理観を持っている。【法令遵守、使命感、責任感、倫理観】					
求められる資質能力  A・Fを基盤に  Eを直接体験を補完する手段として  Dを視点に	<b>B 保育を創る力</b> ① 保育構想  ② 保育技能  ③ 省察	<b>B0</b> ・ 子供の発達を踏まえた遊びを中心とした学びを支える保育指導について理解する。 ・ 保育のねらい・内容、「幼児理解に基づいた評価」について理解する。 ・ 保育指導の方法(基礎的な保育指導理論・保育構想等)について理解する。 ・ カリキュラム・マネジメントの意義や重要性について理解する。	<b>B1</b> ① 幼稚園教育要領又は幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基に、乳幼児期の教育及び保育の特質を理解するとともに、ねらい・内容を明確にした長期の指導計画を踏まえ、先輩教員の助言を得ながら短期の指導計画を立てる。 ② 「主体的・対話的で深い学び」を実現する中で、子供の環境への関わり方や遊びの展開における子供の学びや育ちを確かめながら保育実践するとともに、ねらい・内容に照らして「幼児理解に基づいた評価」をする。 ③ 日々の保育実践を振り返り、自身の課題を把握・分析し、保育改善を図る。 ①②③ カリキュラム・マネジメントについて理解を深める。	<b>B2</b> ① 子供の実態を踏まえ、付けたい力を明確にするとともに、乳幼児期の教育及び保育における見方・考え方を意識し、見通しをもって長期・短期の指導計画を立てる。 ② 子供の環境への関わり方や遊びの展開に適切に対応し保育実践するとともに、子供の学びや育ちを捉え、「幼児理解に基づいた評価」を適切に行う。 ③ 自ら課題意識をもち、進んで保育を参観したり、研究保育を実践したりすることで、学んだことを保育改善に生かす。 ①②③ カリキュラム・マネジメントの推進を図る。	<b>B3</b> ①②③ 子供の実態や地域の特色を生かした保育を実践するとともに「幼児理解に基づいた評価」を適切に行う。 自身の専門性を磨くとともに、園内研修の充実を図り、同僚や若手教員に適切な指導・助言を行い、園の保育力向上を牽引する。 組織のリーダーとして、カリキュラム・マネジメントの推進を図る。	<b>B4</b> ①②③ 子供の実態や地域の特色を生かした保育を実践するとともに「幼児理解に基づいた評価」を適切に行う。 若手教員や中堅教員の保育力向上や園教育目標達成に貢献する。 全教職員によるカリキュラム・マネジメントが推進できるように組織の体制を活性化させる。	
	<b>C 子供と関わる力</b> ① 子供理解  ② 集団づくり	<b>C0</b> ・ 子供の心身の発達について理解する。 ・ 個と集団を捉える意義・目的等について理解する。 ・ 個と集団の育ちを支えるための指導の方法(連携、相談等)について理解する。	<b>C1</b> ① 子供の内面を共感的に理解し、先輩教員等の助言を得ながら、一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導を行う。 ② 子供は集団との関わりの中でより成長することを理解し、先輩教員等の助言を得ながら一人一人の心の基盤づくり・生活の基盤づくり及び規律と温かさがある望ましい集団づくりを行う。	<b>C2</b> ① 子供を取り巻く環境を的確に把握した上で子供理解を深め、他の職員や関係機関等と連携を図りながら、自己実現(自分らしさ)につながっていくよう適切な支援・指導を行う。 ② 子供同士が高め合おうとする集団へ成長させることができるように、他の職員と連携を図りながら、適切な支援・指導を行う。	<b>C3</b> ①② 個や集団に対する支援・指導について、組織においてリーダーシップを発揮する。	<b>C4</b> ①② 教職員相互でより良い集団づくりに関する情報の共有化・指導の一体化が図られるように、組織の連携を強化する。	
	<b>D 特別な配慮や支援を必要とする子供の対応</b>	<b>D0</b> ・ 特別な配慮を必要とする子供の特性や支援方法について理解する。	<b>D1</b> ・ 障害の特性についての理解を深め、教育的ニーズを把握するとともに、合理的配慮について考える。 ・ 専門性の高い教員の助言を得ながら個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、それに基づいて適切な支援・指導を行う。	<b>D2</b> ・ 園内組織や関係機関等との連携を推進し、より効果的な支援・指導を行う。	<b>D3</b> ・ 特別な配慮を必要とする子供に対する支援・指導についての専門性を高め、園内組織においてリーダーシップを発揮する。	<b>D4</b> ・ 関係機関等と連携して、支援体制の構築に参画する。また、園内組織等に対し、適切な指導・助言を行う。	
	<b>E ICTや情報・教育データの利活用</b>	<b>E0</b> ・ 乳幼児期の教育及び保育の特性や子供の体験との関連を考慮した情報機器の活用法を理解する。	<b>E1</b>	<b>E2</b>	<b>E3</b>	<b>E4</b>	
<b>F よりよい教育を進め、高める力</b> ① 経営能力  ② 危機管理(情報管理を含む)  ③ 組織力  ④ 家庭・地域等との連携・協働	<b>F0</b> ・ 学級経営の仕組みと効果的な方法を理解する。 ・ 危機管理や事故対応を含む園における安全の必要性について理解する。 ・ 教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解する。 ・ 多様な人材と連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解する。 ・ 連携・協働による開かれた園づくりの意識を理解する。	<b>F1</b> ① 学級担任の役割と職務内容について理解し、学級経営方針を策定し、実践する。 ② 危機管理の重要性を理解し、安全指導・安全管理ができる。 ③ 組織の一員として、与えられた役割について報告・連絡・相談を行うとともに、諸課題について組織として迅速に対応する。 ④ 家庭、地域、関係機関等と積極的に関わり、連携・協働した教育及び保育活動を行う。	<b>F2</b> ① 幼稚園教育目標と教育計画及び幼保連携型認定こども園の教育・保育目標と全体計画を踏まえて、学級(学年)経営の経営方針を策定し、実践する。 ② 様々な教育及び保育活動での危険・危機について把握し、課題に応じて指導するとともに環境を整備する。 ③ 求められている役割を理解して積極的に対応する。 ④ 家庭、地域、関係機関等との関わりを深め、連携・協働した教育及び保育活動を行う。	<b>F3</b> ① 幼稚園教育目標と教育計画及び幼保連携型認定こども園の教育・保育目標と全体計画の実現に向けて指導の重点を定め、教育及び保育活動の活性化を図る。 ② 様々な教育及び保育活動での危険・危機を予測し、未然防止を図るとともに、早期発見、早期対応に努める。 ③ 組織のリーダーとして、互いのよさを認め合い、主体的に園運営に参画する。 ④ リーダーシップを発揮し、家庭、地域、関係機関等とのネットワークを形成する。	<b>F4</b> ① 経営方針を受け、園運営について、ビジョンの構想やプランの構築に参画する。 ② 様々な教育及び保育活動での危険・危機を予測し、未然防止や抜本的改善、再発防止を組織的に推進する。 ③ 園教育目標達成のために、組織の特性を見極め、組織力を高める指導・助言を行う。 ④ 家庭、地域、関係機関等とのネットワークを形成し、環境の整備や指導・助言等を行い、連携・協働ができる組織体制の構築を推進する。		